

北海道一級河川環境保全連絡協議会網走地方部会幹事会
「土砂流出に関する講演会」 メモ

佐藤科長)

北見河川さんで実施している植樹苗作りの樹種は何ですか。

網走開建北見河川事務所)

総合学習の一環の環境学習ということで小学生に協力してもらっており、扱いやすいミズナラ等のどんぐりを使用しています。未だ芽が出たばかりなので、植樹するのは来年以降です。

網走開建治水課)

佐藤さんご紹介の対策は道が行っているのでしょうか。

佐藤科長)

民有林で林家さんがやられているものですが、その分簡単な方法でお金をかけずに工夫されています。濁水防止というだけでなく、集材路が壊れると作業ができないということもあり、そういう面からも対策の実施につながっています。道有林では、集材路を川べりから離すなど工夫しており、水質の調査も実施できる体制をとっているところもあります。

網走開建治水課)

農家対象の農地・水・環境保線向上対策のように林家に直接補助をして対策を実施してもらうような施策はあるのでしょうか。

網走支庁調整課)

今はないが国で検討はされているものと聞いています。

網走開建治水課)

今日ご紹介の事業実施にあたって、目標設定をすることはお考えでしょうか。

網走支庁調整課)

なかなか難しいです。水田にある多面的な機能を畑でも期待するものですが、まず土砂を出さない対策の検討から始めたいと思っています。

網走開建治水課)

難しいことを知っていて聞いてすみません。平成19年の検討会でも議論になったことで

すが、通常河川管理者が考えているのは平常時の水質で、降雨時、特にローカルな現象まで考慮して管理するのは難しく、検討会でも調査検討を行うことで宿題になっていたところ。そういった意味でも中山先生にお願いして様々現象を検討しているところでもあります。

中山教授)

各機関で情報提供いただいた対策について効果の検証に関してお考えのところはありますでしょうか。

網走開建治水課)

個別具体にはありませんが、中山先生に計測していただいている水質データなどでも一部フォローできるものと考えています。容易にできるものもあると思うので、考えてみたいと思います。

網走支庁調整課)

非常に難しいことですが、H19年のようなことが発生しないような状況ができれば一定の評価かなと思います。

佐藤科長)

評価についてはなかなか具体の数字の設定は難しいのですが、これまで様々な場所での計測を行ってきたところの感覚で申し上げますと、オーダー比較程度で十分整理、理解可能と思っています。森林流域だと濁度で100mg/Lオーダー、畑地流域からは1,000mg/Lオーダーになります。畑地そのものからの流出では10,000mg/Lオーダーになる。

網走開建治水課)

中山先生のモデルができれば、それを活用した評価も可能でしょうか。

中山教授)

モデルによる検証を組み合わせれば、対策の実施による評価も比較的容易になると考えます。個別の対応が難しいとなるとモデルの活用は有効かと思います。

網走開建治水課)

ご講演いただいた佐藤科長、中山教授。話題提供いただいた関係機関の方をはじめご参加いただいた皆様ありがとうございました。これだけの方々が濁水に関して関心を持たれてお集まり頂いて情報交換できる体制は全道でもかなり先進的なことだと思います。来年

も引き続き実施したいと思いますのでよろしくお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。